



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月14日

上場会社名 JNSホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3627 URL https://www.jns.inc/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 昌史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理部長 (氏名) 中野 隆司 TEL (03)6838-8800

四半期報告書提出予定日 2021年10月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績 (2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	4,732	18.1	202	20.4	100	△10.6	562	258.7
2021年2月期第2四半期	4,008	△17.6	168	△31.7	112	△56.2	156	△1.1

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 545百万円 (348.8%) 2021年2月期第2四半期 121百万円 (△8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	47.02	44.71
2021年2月期第2四半期	13.52	13.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	9,654	5,807	59.7	479.94
2021年2月期	6,876	5,232	75.6	440.85

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 5,763百万円 2021年2月期 5,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	ー	0.00	ー	2.00	2.00
2022年2月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2022年2月期 (予想)	ー	ー	ー	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	9,200	8.2	450	88.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

現在、モバイル、インターネット業界は、非常に速いスピードで構造変化が進行しつつあり、短期的な業績動向については変動要素が多いため、当社では、年間ベースでの業績管理に重点をおいた経営管理を強化しています。これらを踏まえ、現在、当社グループの業績予想については、連結業績に関する年間業績の開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	12,009,600株	2021年2月期	11,793,800株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	105株	2021年2月期	105株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	11,967,584株	2021年2月期2Q	11,601,093株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自2021年3月1日 至2021年8月31日）における日本経済は、長引くコロナ禍により下振れリスクの高まりが懸念されるものの、4月～6月の実質GDP成長率が前期比0.5%増、年率換算1.9%増と二期ぶりにプラス成長に転じており、新型コロナウイルスワクチンの接種率の進展や新政権の景気対策への期待も相まって、今後の景気動向については回復を見込む向きが増えつつあります。

こういった状況のなか、デジタルトランスフォーメーション（DX）は、「withコロナ」の影響もあり、さまざまな領域で浸透してきており、企業においてはリモートワークなど、働き方のDX化は当然のこと、あらゆる業務プロセスにおいてデジタル化を前提とした取り組みが進みつつあります。また、コロナ禍のなかで高まる健康志向によるHealthTech需要の拡大や、学校教育におけるデジタル活用、キャッシュレス決済の浸透やデジタルエンターテインメントの利用拡大等、DX化の流れは着実に拡大しております。

これら事業環境のもと、X-Techサービス事業については、コンテンツ・サービス事業において知育・教育、ヘルスケアと並行して取り組んできたキャラクターコンテンツ分野で、7月15日に発売したNintendo Switchソフト『クレヨンしんちゃん「オラと博士の夏休み」』が、当第2四半期におき約30万本を出荷する爆発的なヒットとなりました。また、「withコロナ」を背景に、法人や自治体向けに提供しているビジネスコミュニケーションサービスやキャッシュレス決済サービスなどのビジネス系Techサービスも堅調に推移しました。DXソリューション事業においては、デバイス事業が、世界的な半導体等の部材の需給逼迫や価格高騰の影響を大きく受けており、設計見直し等による代替部品への変更対応など、下期に向けてのリカバリー対策に注力しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は4,732,376千円（前年同期比18.1%増）、営業利益は202,900千円（前年同期比20.4%増）、経常利益については、100,624千円（前年同期比10.6%減）となりました。営業利益と経常利益の乖離については、当第2四半期連結累計期間において、株式会社バリューデザインが当社の持分法適用関連会社であったため、持分法投資損失を計上したこと等によるものです。なお、純利益については、2021年8月25日付で株式会社バリューデザインの株式の一部売却に伴う特別利益等により、562,685千円（前年同期比258.7%増）となりました。

セグメント別の事業動向については以下の通りです。

<DXソリューション事業>

当第2四半期連結累計期間におけるDXソリューション事業の売上高は2,609,195千円（前年同期比19.1%減）、セグメント損失は89,090千円（前年同期はセグメント利益293,160千円）となりました。

世界的な半導体等の部材の需給逼迫や価格高騰などにより、自動車、家電を始めとしてさまざまな製造業において影響が顕在化しており、当社事業においてもデバイス事業が製造遅延や採算悪化等、大きな影響を受けています。デバイス事業の受注状況そのものは、インバウンド関連製品の落ち込みに対応した営業展開が功を奏し、各種IoT製品を中心に復調傾向にあります。現在、最大課題である受注製品の製造完遂に向け、代替部品への変更対応や調達可能部品に合わせた設計見直しなど、積極的なリカバリー対策を図っております。

サービスソリューション事業については、引き続きコロナ禍の影響を受けた顧客企業からの受注は停滞傾向にあるものの、DX化の進展を背景に新規サービス開発の受注は堅調に推移しています。しかしながら、デバイス事業の損失分を補うには至らず、DXソリューション事業全体としては損失を計上しました。

<X-Techサービス事業>

当第2四半期連結累計期間におけるX-Techサービス事業の売上高は2,123,180千円（前年同期比171.5%増）、セグメント利益は446,571千円（前年同期はセグメント損失10,609千円）となりました。

コンテンツ・サービス事業については、7月15日に発売したNintendo Switchソフト『クレヨンしんちゃん「オラと博士の夏休み」』が期首の予想を大きく上回り、当第2四半期において約30万本を出荷する爆発的なヒットとなりました。知育・教育分野では、教育のデジタル化政策「GIGAスクール構想」が進行するなか中で、教育コンテンツのデジタル化プロデュース事業も、好調に推移しています。また、コロナ禍における企業の健康経営への関心の増大を背景に、健康増進サービス“RenoBody”も順調に拡大しました。

ビジネス系Techサービスにおいては、DX化気運と「withコロナ」対策を背景に、法人におけるデジタルコミュニケーションのさらなる需要拡大や店頭などでの現金のやり取りを省くキャッシュレス決済サービスへのシフトが引き続き進んでおり、当社サービスにおいても順調に売上高が拡大しています。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月27日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

また、最近の業績動向を踏まえ、2021年4月14日に発表した2022年2月期の配当予想を修正しております。具体的な内容につきましては、本日(2021年10月14日)公表しております「期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,050,141	5,353,255
受取手形及び売掛金	1,038,573	1,245,592
商品	25,822	95,822
仕掛品	35,636	94,813
原材料	217,487	329,153
前渡金	192,648	541,264
その他	439,755	327,062
貸倒引当金	△4,904	△5,414
流動資産合計	3,995,160	7,981,549
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	133,856	150,404
車両運搬具(純額)	4,386	4,346
器具備品(純額)	64,677	97,204
建設仮勘定	1,544	1,433
有形固定資産合計	204,464	253,389
無形固定資産		
ソフトウェア	178,014	171,036
ソフトウェア仮勘定	256,078	70,973
のれん	72,289	54,940
その他	4,719	7,255
無形固定資産合計	511,102	304,205
投資その他の資産		
投資有価証券	77,924	780,488
関係会社株式	1,702,948	-
関係会社出資金	1,212	314
繰延税金資産	151,696	142,925
差入保証金	238,870	196,896
その他	30,073	32,108
貸倒引当金	△37,131	△37,131
投資その他の資産合計	2,165,595	1,115,601
固定資産合計	2,881,162	1,673,195
資産合計	6,876,322	9,654,745

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	350,252	798,323
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	149,742	442,664
未払法人税等	48,142	201,106
前受金	127,297	259,027
賞与引当金	204,846	161,377
製品保証引当金	427	427
その他	376,396	352,654
流動負債合計	1,457,104	2,415,580
固定負債		
長期借入金	130,854	1,383,406
繰延税金負債	14,813	14,501
資産除去債務	33,445	24,775
その他	7,329	8,892
固定負債合計	186,443	1,431,575
負債合計	1,643,547	3,847,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,378,899	2,383,107
資本剰余金	1,487,890	1,492,098
利益剰余金	1,287,666	1,860,094
自己株式	△76	△76
株主資本合計	5,154,380	5,735,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,486	△12,859
繰延ヘッジ損益	2,377	△1,128
為替換算調整勘定	1,061	42,587
その他の包括利益累計額合計	44,925	28,599
新株予約権	33,469	43,764
純資産合計	5,232,775	5,807,589
負債純資産合計	6,876,322	9,654,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	4,008,171	4,732,376
売上原価	2,842,465	2,952,566
売上総利益	1,165,705	1,779,809
販売費及び一般管理費	997,157	1,576,909
営業利益	168,547	202,900
営業外収益		
受取利息	1,449	415
為替差益	—	12,463
その他	3,672	2,572
営業外収益合計	5,122	15,451
営業外費用		
為替差損	51,179	—
持分法による投資損失	1,377	106,540
その他	8,619	11,186
営業外費用合計	61,176	117,727
経常利益	112,493	100,624
特別利益		
関係会社株式売却益	—	651,005
持分変動利益	—	2,796
特別利益合計	—	653,801
特別損失		
減損損失	—	27,671
事務所移転費用	—	9,185
特別損失合計	—	36,857
税金等調整前四半期純利益	112,493	717,568
法人税等	△44,442	154,882
四半期純利益	156,936	562,685
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,857	562,685

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	156,936	562,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,142	△54,346
繰延ヘッジ損益	△3,154	△3,505
為替換算調整勘定	△11,115	40,742
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△158
その他の包括利益合計	△35,412	△17,268
四半期包括利益	121,523	545,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,444	545,417
非支配株主に係る四半期包括利益	78	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	112,493	717,568
減価償却費	73,523	345,373
のれん償却額	17,349	17,349
持分法による投資損益 (△は益)	1,377	106,540
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△651,005
減損損失	—	27,671
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,453	510
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△86,955	△43,469
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△372	—
売上債権の増減額 (△は増加)	299,310	△207,019
たな卸資産の増減額 (△は増加)	133,258	△240,410
仕入債務の増減額 (△は減少)	△288,221	448,070
前受金の増減額 (△は減少)	△519,709	131,730
前渡金の増減額 (△は増加)	146,317	△348,616
その他	△436,284	113,864
小計	△549,366	418,157
利息及び配当金の受取額	1,567	610
利息の支払額	△5,688	△7,293
法人税等の支払額	△217,693	△38,727
法人税等の還付額	1,541	42,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	△769,640	415,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,766	△70,280
無形固定資産の取得による支出	△210,720	△156,883
投資有価証券の取得による支出	△10,113	△100,000
関係会社株式の取得による支出	△553,027	△694,937
関係会社株式の売却による収入	—	2,332,800
差入保証金の差入による支出	△5,875	—
差入保証金の回収による収入	85	—
その他	—	△142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△808,418	1,310,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	78,180	—
長期借入れによる収入	—	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△215,496	△254,526
株式の発行による収入	—	8,416
自己株式の取得による支出	△24	—
リース債務の返済による支出	△1,602	△337
配当金の支払額	△34,222	△23,441
財務活動によるキャッシュ・フロー	△173,164	1,530,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,847	47,014
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,786,070	3,303,113
現金及び現金同等物の期首残高	4,459,020	2,050,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,672,949	5,353,255

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	DXソリューション 事業	X-Techサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	3,226,116	782,055	4,008,171	—	4,008,171
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	43,492	—	43,492	△43,492	—
計	3,269,608	782,055	4,051,663	△43,492	4,008,171
セグメント利益	293,160	△10,609	282,550	△114,002	168,547

(注) 1. セグメント利益の調整額△114,002千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△92,393千円、のれんの償却額△17,349千円が含まれております。全社費用は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	DXソリューション 事業	X-Techサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,609,195	2,123,180	4,732,376	—	4,732,376
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	72,084	900	72,984	△72,984	—
計	2,681,280	2,124,080	4,805,360	△72,984	4,732,376
セグメント利益	△89,090	446,571	357,481	△154,580	202,900

(注) 1. セグメント利益の調整額△154,580千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△136,097千円、のれんの償却額△17,349千円が含まれております。全社費用は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に「DXソリューション事業」セグメントにおいて、27,671千円の減損損失を計上しております。